

# 連携室だより

## 安曇総合病院理念

私たちは、地域の皆さまの健康を守るため、  
親切で安全な医療活動につとめ、  
ホスピタリティあふれる病院づくりをめざします。

## CONTENTS

地域連携懇話会

病薬連携懇話会

新任医師紹介

第1回 あずみ緩和ケア公開講座

お知らせ

長野厚生連

# 安曇総合病院

# 51

August 2014

(写真: 安曇総合病院 施設課ポイラー室)

連携室だより

2014年8月発行

J.A.長野厚生連 安曇総合病院 〒399-8695 長野県北安曇郡池田町大字池田 3207-1

編集発行/地域医療連携課 TEL 0261-61-1455 FAX 0261-61-1456

7月5日に、第1回あずみ緩和ケア公開講座(第33回地域住民のための公開講座)を、当院外来棟1階ホールにて開催しました。

まず、当院の在宅支援科阿部克哉先生より、「モルヒネは怖い薬ですか?医療用麻薬への誤解を解く」と題して講演をいただきました。がん患者さんにとって最もつらいのは痛みですが、痛みの70~80%は痛み止めを使うことで和らげることができるといわれています。麻薬と聞くと「中毒になる?」「怖い」など様々なイメージがありますが、痛みに応じて適切に使用すれば安全だと説明をいただきました。

また、特別講演として、筑波メディカルセンター病院副院長緩和医療科志真泰夫先生より、「生と死のイメージ〜がんとともに生きる〜」と題して講演をいただきました。生と死には、個人的な体験から得るイメージ、知識から得るイメージ、文化として引き継がれるイメージの3つがあり、志真先生が臨床の場で経験されたがん患者さんとの関わりやご家族との関わりも交えて、お話しをいただきました。

連携医の先生方や地域の方を含め95名の参加があり、「がん」や「生と死」について考える機会となりました。

(看護部 中山 京子)

生と死のイメージ ~ がんとともに生きる ~

筑波メディカルセンター病院 副院長

緩和医療科 志真 泰夫 先生

2014年7月5日 第1回 あずみ緩和ケア公開講座  
(第33回 地域住民のための公開講座)



モルヒネは怖い薬ですか? 医療用麻薬への誤解を解く  
在宅支援科 阿部 克哉 先生



座長  
在宅支援科 薛 孝太郎 先生



## お知らせ

### 新規 病診連携登録医

氏名 岡江 昇 (おかえ のぼる)  
岡江歯科医院 (大北歯科医師会)  
登録日 2014年8月7日



おかげさまで、当院の連携登録医制度にご理解いただき新規登録させていただきましたのでご紹介いたします。(8月8日現在、病診連携登録医数 45 施設)

### 放射線カンファレンス開催のお知らせ

次回 11月10日(月曜日) 18:30 から  
安曇総合病院外来棟3階健康管理室で行います。  
気になる症例などありましたらお持ちください。  
(日本医師会生涯教育制度取得単位=1.0単位)



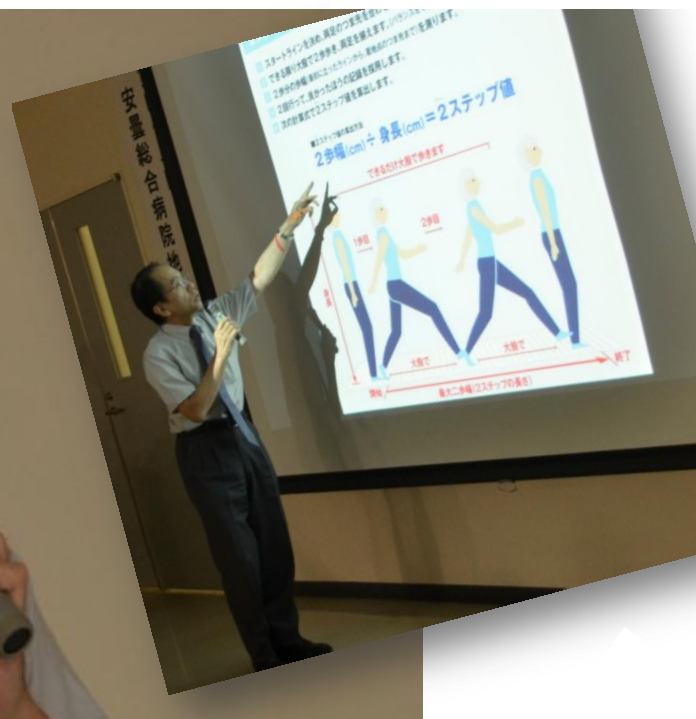
平成 26 年 7 月 17 日、当院会議室にて第 42 回安曇総合病院地域連携懇話会を開催しました。今回は、信州大学医学部 整形外科 教授 加藤博之先生をお招きし、「ロコモティブ症候群の予防と治療」と題して講演をしていただきました。座長を当院の畑 幸彦院長 と 当院連携医の松川村西森整形外科 院長 西森安彦先生 に務めていただきました。（院内外あわせ 90 名の参加）

「ロコモティブ症候群」とは、運動器の障害のために、要介護になっていたたり要介護になる危険性の高い状態のことをいいます。高齢化が急速に進む日本の新・国民病といわれています。長野県は平均寿命が全国で男女共に 1 位であるのに対し（2013 年公表）、健康寿命はそれぞれ 6 位、17 位です。「自分の足で生きていくこと、健康寿命を伸ばしていくこと」が重要な課題です。要支援、要介護になる要因の第 1 位は運動器の障害であり、変形性膝関節症、腰部脊柱管狭窄症、骨粗鬆症のそれぞれの症状と治療についてお話がありました。

ロコモティブ症候群の予防は若いうちからの運動習慣が重要です。「ロコモ度テスト」で年代相応の移動機能が維持できているかをチェックし、「ロコトレ（ロコモーショントレーニング）」を毎日続けることが肝心です。講演全体を通して DVD を交えながらわかりやすくお話していただきました。

次回の懇話会は 11 月に予定しております。大勢の先生方のご参加をお待ちしております。  
（地域医療連携課 角田 早苗）

「ロコモティブ症候群の予防と治療」  
信州大学医学部 整形外科 教授 加藤 博之 先生



座長：西森整形外科 西森 安彦 先生  
安曇総合病院 畑 幸彦 院長

## 第 42 回 地域連携懇話会

## 第 11 回 病薬連携懇話会



「消化器がんの化学療法」 外科副部長 久保 直樹 先生

8 月 7 日、第 11 回安曇総合病院病薬連携懇話会を当院会議室で開催しました。今回は『がんにおける薬薬連携』というテーマで、医師、薬剤師、看護師より講演を行いました。

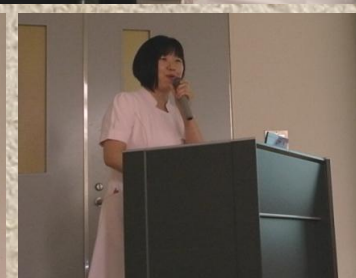
『消化器癌の化学療法』と題して、外科副部長 久保直樹先生から、胃癌・大腸癌のガイドラインや投与方法、レジメンなどについて、また薬剤師のがん患者への関わりとして、チーム医療としての取り組み、情報共有していくために薬薬連携が重要であることをお話いただきました。

『当院の化学療法について』窪田 和弘（がん薬物療法認定薬剤師）からは、当院での化学療法を受ける患者の傾向について、その後のレジメン、副作用、支持療法などの説明がありました。

『予防的スキンケアについて』降旗理恵（皮膚・排泄ケア認定看護師）からは、手足症候群について、基本的な皮膚ケア（洗浄・保湿・保護）について、保湿剤の塗り方の指導がありました。がんにおける薬薬連携をさらに進めていく必要性を感じる講演会となりました。（薬剤部 松本 和子）



当院における化学療法について  
がん薬物療法認定薬剤師  
窪田 和弘



予防的スキンケアについて  
皮膚・排泄ケア認定看護師  
降旗 理恵



## 新任医師紹介



向山 啓二郎（むかいやま けいじろう）

整形外科

（整形外科部長）

- ◆ 信州大学（平成 11 年卒）
- ◆ 専門医：日本整形外科学会 整形外科専門医  
日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄外科指導医
- ◆ 所属学会：日本整形外科学会、日本脊椎脊髄病学会  
中部日本整形災害外科学会  
日本骨粗鬆症学会
- ◆ 7 月よりお世話になります、向山啓二郎と申します。安曇総合病院には以前にもお世話になったことがあり、このたび 7 年ぶりに、またこの地でお世話になることになりました。整形外科の病気にはさまざまなものがあり、患者さんもたくさんですが、予防から手術治療まで自分の専門性を生かしながら精一杯診療に当たらせていただきます。よろしくお願ひ致します。



石田 公美子（いしだ くみこ）

麻酔科

- ◆ 信州大学（平成 16 年卒）
- ◆ 専門医：日本麻酔科学会 麻酔科専門医
- ◆ 所属学会：日本麻酔科学会
- ◆ 5 月から安曇総合病院麻酔科に勤務しております。大学卒業後、諏訪赤十字病院で 2 年間初期研修を行い、その後信州大学医学部麻酔科蘇生科に入局いたしました。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



患者さんのご紹介等診療情報に関するお問い合わせ・ご要望は  
地域医療連携課で承っております。

電話 0261-61-1455  
FAX 0261-61-1456  
E-mail renkei@azumi-ghp.jp

● 受付時間 平日 8 時 30 分 ~ 17 時  
土曜日 8 時 30 分 ~ 12 時 30 分（診療日に限る）